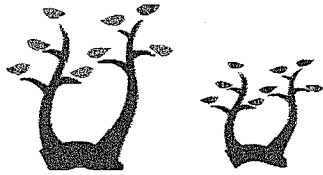


「鵜沼の緑と景観を守る会」機関紙

# 鵜沼の緑



1月例会・懇談会報告

発行 藤沢市鵜沼地区「鵜沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

## 1月例会および懇談会報告

1月例会は1月15日(日)15時から鵜沼公民館第三談話室で行われました。出席者19名。  
恒例の「高木ふれあい荘」の清掃には6名が参加しました。

### 1月例会報告

司会・書記 古山幹事 北村代表より報告

#### 1 「高木ふれあい荘」大掃除

昨年12月21日、ふれあい荘の暮の大掃除が実施されました。当会からは2名参加。  
各利用団体から多数の参加があり、家屋の内外共に短時間で奇麗に仕上がりました。

#### 2 藤沢市市民活動推進センター10周年記念

センター開館10周年記念事業が12月23日(金)に市民会館小ホールで盛大に行われました。約500名の参加がありました。

##### 実施内容

##### <第1会場>

- 推進センターサポーター感謝状贈呈
- 小山明子さん講演○チラシ大賞発表・表彰
- パネルディスカッション

山岡義典氏 金子郁容氏 海老根靖典氏

##### <第2会場>

- 115団体・120枚パネル展示
- 当会も出品しました

(1月26日~31日に藤沢駅北口

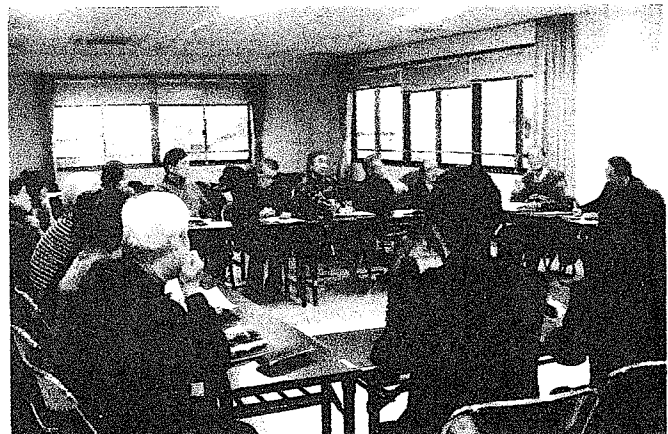
ギャラリーで展示されます)

\* 懇親会も行われ、各参加団体が交流を深めました。\*

#### 3 藤沢宿ぶらり 朝市ないわい蔵めぐり

旧東海道藤沢宿まちそだて隊の主催で  
1月29日(日)に開催されます。  
藤沢宿の文化的魅力を広く知ってもらい  
たいと多彩な催しが計画されています。

朝市 建物見学  
シンポジウムなど



#### 4 神奈川の海岸防災を考える講演会

NPO法人神奈川県自然保護協会の主催による講演会が予定されています。予測される東海地震などによる湘南海岸の被害を防ぐための対策を東北地方の被害状況もふまえて考えようとするものです。

日時： 3月24日(土) 18時～21時

会場： 鵠沼公民館ホール

① 湘南地方の縄文時代以降に起きた地震・津波について

神奈川県温泉地学研究所主任研究員 萬年一剛氏

② 神奈川県の海岸林の歴史・現状・将来

(財)IGES国際生態学センター所長 宮脇昭氏

当会は後援団体として参加します。

会員のみなさまのたくさんの参加をお待ちしております。

#### 5 その他

\* 美化ネットふじさわ講演会が「まち美化アダプトプログラム」と題して2月10日(金) 12:00～15:30に労働会館ホールで開催されます。

\* サークル交歓会・研修会が開かれます。

2月13日(月) 10:00～12:00 鵠沼公民館ホール

「鵠沼の文化」 尾島政雄氏

\* 会員の齊藤県議・河野前市議・有賀市議・三野市議が出席され、それぞれから発言がありました。



#### 懇談会



湯浅会員の「松の海岸植栽」についての提案を中心に出席会員による話し合いが行われた。

先に湯浅会員が神奈川県知事に提出した「1 津波避難タワーに無線アンテナの設置と海岸利用者への避難通知を示すフラッグの掲示 2. 海岸林形成のための松の植栽」に対しては下記の回答が寄せられた。

(湯浅さんの了解を得て一部を紹介します)

湯浅 秀 様

日ごろから、県立湘南海岸公園をご利用いただくとともに、ご意見をいただきましてお礼申し上げます。さて、ご意見をいただきました津波避難タワーですが、逃げ遅れた海水浴客やサーファーなどの海岸利用者など、海側から陸側に向かう避難者の収容を想定しています。このため、設置場所としましては、海岸から見やすく避難しやすい場所であるサーフビレッジ周辺を選定しました。また、この設置場所は、周辺の建物から海への眺望を阻害しにくく、景観に配慮して選定したものです。

緊急連絡のための無線のアンテナなど、津波避難タワーに具備する付帯設備に関しましては、タワー本体を早期に設置することを優先に準備を進めているため、今回は整備の対象としていませんが、今後、津波避難対策を藤沢市が検討していくなかで、設置の必要があれば検討してまいります。なお、海岸や海面の利用者へ、津波からの避難を知らせるためのオレンジフラッグ(赤旗・黄旗に類するもの)については、タワーの手すりに設置が可能と考えております。

次に松林についてですが、当該地は多くの方々に利用いただいている都市公園となっているため、公園の利用（広場など）にも配慮する必要があり、現在のところ松林を増やす予定はありません。今回は貴重なご意見ありがとうございました。今後とも皆様からのご意見を伺いながら、より良い県土づくりを目指してまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

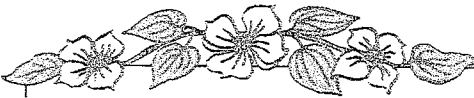
平成 24 年 1 月 11 日

神奈川県 県土整備局  
環境共生都市部

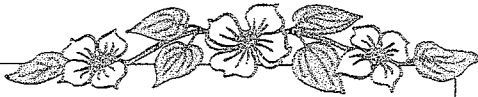
<参加会員からの意見・提案>

- 「少しは役に立つことを多くの方が行えば結果的には立派に役立つことになる」小さなことからでも先ず始めよう。
- 松の植栽に名札をつけ多くの賛同者から 1 本 1000 円程度の寄付をいただく。
- 名札があることにより本人や家族の思い出作りになり松の成長が楽しみになる。
- 今回の東日本大震災では 10 ヶ月経っても多くの行方不明者がいる。海岸に松ノ木があれば何人かは発見できたのではないか。
- 海岸林は津波の勢いを減殺し船や家屋の流出を食い止める。
- 鵜沼海岸の行政の担当部署が分ったのでその部署と今後話し合いをしよう。
- 我々から見れば松の植栽場所はまだまだ多くある。検討してみよう。
- 当会を含め友好団体と協力して植栽活動を展開すべきだ。
- 行政に頼らず理にあった仕掛け作りを見つけよう。

その他いろいろなご意見・提案がありました。



みどりの相談コーナー



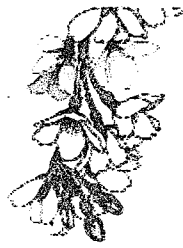
**Q 庭にセンリョウがあり、大きくなりすぎたので切りたいが実がなるでしょうか？**

**A** センリョウは、途中で枝分かれているところがあります。このところで切り取り、全体に小さくしていくことができます。全体を刈り込むようなことをすると、実がならなくなりやすくなりますから気を付けましょう。

**Q カキの木の剪定は何時がいいか？**

**A** 冬剪定の適期は、落葉期の 12 月～2 月ごろです。1 月 2 月が良いでしょう。立ち枝や下に出る枝を剪定バサミで切り落とします。あまり太い枝をのこぎりで切ると、実が付きにくくなります。カキは長さ 30～40cm の元気のよい枝の、先端付近から出る新梢に結実します。枝の先端を剪定するのではなく、発育の悪い枝を間引いて、元気のよい枝を残すように剪定しましょう。

(廣田相談員)



### 枝垂れ桜

鶺鴒沼の住居表示が変わり、「桜が岡」になった時、ご近所のT氏が桜の苗を取り寄せて希望者に分けて下さった。昭和41年頃である。何処まで掘っても砂ばかりのこの地に、割り箸ほどのか細い苗木が育つのかしらと危ぶまれた。それが今では庭いっばいに枝を張り、幹の周囲は1メートル余り、高さは二階の屋根に届くほどになった。花の季節、花の間を目白や四十雀が飛び交い、やがて葉桜になると緑のすだれをかけたように芝生の上に日蔭を作ってくれる。去年の台風で少し枝を傷めたが、今から枝先に小さな丸い蕾の膨らみが見える。

我が家の宝物です。

(M・K生)

### 「五友会住民協定」

・・・五友会のまちづくりについて・・・(平成23年11月号のつづき)

#### 鶺鴒沼で広がるまちづくりの和

鶺鴒沼では長らく、開発に伴う住環境の変化のあり方に疑問を抱く声が積み重なっていましたが、それを具体的な改善につなげるための糸口がつかめない状況にありました。

五友会を含む、藤が谷・桜が岡・松が岡のいくつかの町内会・自治会は、湘南学園を避難場所に関する関係で防災面の定期交流があり、その中で、隣接するニコニコ自治会が先行して挑戦したまちづくりの活動が話題となり、2007年には定期勉強会が始まり、行政・事業者の実情や各団体の活動についての情報交換を行うようになりました。

住民協定は、鶺鴒沼の風土に根差したライフスタイルや近年の開発の傾向、近隣のまちづくりの経緯を踏まえた、家づくりに伴うトラブルを未然に防ぐためのポイントが含まれており、鶺鴒沼のまちの可能性を育むものです。

#### ♡ 2月日程のお知らせ ♡

- 編集会議 2月8日(水) 15:00～
- 広報印刷 2月10日(金) 15:00～
- 例会 2月19日(日) 15:00～
- 懇談会 「想定される地震・津波に我々は  
どう対処すべきか」  
高橋志保彦先生(顧問)を囲んで
- 邸清掃 2月16日(木) 9:30～
- 幹事会 2月25日(土) 10:00～

(高木ふれあい荘の清掃は今月はありません)

☆編集係より☆

昨年の例会で津波対策のひとつとして、鶺鴒沼海岸沿いに松を植えようという意見がありました。早速、県に問い合わせてたら松を植える余地はないという返答。本当に余地はないのか。会として実際に調査してみようということになりました。これから他団体と連携しながら防災と景観をいかに両立できるか、会の踏ん張りどころだと思えます  
(佐)

# 神奈川の 海岸防災を考える

2012年 3月24日(土) 18:00~ (開場 17:30)

会場 藤沢市 鵠沼公民館ホール 入場無料(要申込)

(小田急江ノ島線 鵠沼海岸駅より徒歩2分)

主催 NPO法人神奈川県自然保護協会 共催 藤沢市  
後援 神奈川県 川名自然フォーラム 鵠沼の景観まちづくりの会 鵠沼の緑と景観を守る会  
湘南の散歩道をきれいにする会 藤沢市自然環境懇話会

参加申込方法: Eメール、FAX、往復葉書で 氏名・同行者人数・連絡先住所を  
明記して、下記へ 定員(190名)になり次第締め切ります。

昨年3月11日の東日本大震災における東北地方の大津波被害は目を覆うばかりのものが  
ありました。

心配されている東海地震などでの被害を防ぐために、海に面した地域では各自治体やそこ  
に住む人々の対応が迫られています。

東日本大震災から1年余り経った今、神奈川県における過去の地震津波に関する現在の知  
見や湘南海岸で営々として続けてきた海岸林造成について、東北地方での被害状況も踏まえ  
ながら、今後の事を考えたいと思います。

## プログラム

主催者挨拶 藤崎英輔 神奈川県自然保護協会理事長

話題提供1

湘南地方の縄文時代以降起きた地震・津波について

萬年一剛氏 神奈川県温泉地学研究所 主任研究員

話題提供2

神奈川県の海岸林の歴史・現状・将来

宮脇 昭氏 本協会顧問 (財)IGES 国際生態学センター所長

質疑・討論

閉会 20:30